

軽自動車にて受水・給水が容易に出来ます。

組立式 KL-35・KLC-35 軽自動車積載時

軽自動車用最大積載量 容量 350ℓ 重量10kg 架台込

飲料水・生活用水の確保に！

応急給水を手軽に、多量に給受水が可能です！軽自動車にて給水所へ行き300～350ℓの水を受水可能

特長

- * 災害時に、軽自動車にて相応の飲料水、生活用水の確保が可能です。
- * 軽自動車(ライトバン型)荷台に、コンテナを容易に積み込みが可能。(トラックはロープ止めが必要)
- * 応急給水受給の場合は、容量は最大400ℓまで可能です。軽自動車積載はでは350ℓまでとなります。
- * 車両での給受水の為に、体力的にも無理が生じません。1日、100人分の水が確保可能です。
- * 災害地以外の地域からも受給水が受けられます。勿論、災害地給水所は可能です。
- * コンパクトな受水槽の為、個人、防災自治会、病院、福祉施設、工場等々で給受水が可能です。
- * 給水車、水栓、その他、充填用ホース(口径50mm)にて直結が出来ます。(町野式バルブ、カムロック接続可能)
- * 排水口には1口又は2口水栓の取付が可能です。内袋付バルブでも水量調整は可能。
- * 使用後の消毒には強酸性水(PH2.3)を用意していますので、繰り返し内袋は使用可能です。(耐用年数10年)

EZ排水バルブ構造

止水状態



押すと 排水状態 ←

PE製内袋 (416・1041ℓ)



組立方法

- ① 車両用架台の組立、補助脚を十字型に組、架台枠に固定
- ② 二枚の天板を、突起に合わせ差込固定する。架台の完成。
- ③ 外枠を、突起4か所の内側にセットする。突起内側のマジックテープと外枠のテープを接着固定する。4か所の接着具合を確認し、八角形の形状を作る。
- ④ 八角形が完成後、内袋を挿入し、下部の排水口より、EZバルブを手で引き出し、外枠に固定する。バルブには外枠に差込める溝により固定する。上部の、充填口を、外枠の切り込みに差込み固定する。
バルブがセット完了した後、開口部分にカバーを差込固定する。この際に、バルブが戻らない様に鍵状の部分をバルブに押し付ける様にしてカバーする。カバーはマジックにて固定する。
- ⑤ 排水口に水栓を取り付ける
1口用、または2口水栓が可能。



軽自動車荷台にセット給排水(給水車可)

